

日時 2017年4月27日(木) 19:00~

会場 大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル1F

参加費 一般=500円/学生、大竹財団会員=無料
定員32名【要予約】

主催 一般財団法人 大竹財団 03-3272-3900
<http://ohdake-foundation.org>

知っていますか？
寄付の行方を

© PovertyCure

ポバティー・インク

あなたの寄付の不都合な真実

POVERTY, INC.

「変化がないのには理由がある 変化によって損するのが強者であり 恩恵を受けるのが弱者だからだ — マキャベリ」

監督: マイケル・マシスン・ミラー / 撮影: サイモン・シオンカ 製作総指揮: クリス・マウレン
製作: ポバティーキア、アクションメディア コールドウォーター・メディア
配給: ユナイテッドピープル / 2014年 / アメリカ / 91分

unitedpeople.jp/povertyinc/



JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分
(八重洲地下街24番出口右階段すぐ)
京橋駅7出口から徒歩3分
日本橋駅B3出口から4分

Web予約 PC・モバイル共通
<http://bit.ly/2oc0TXC>

主催・問い合わせ

一般財団法人 大竹財団

03-3272-3900

<http://ohdake-foundation.org>



あなたの善意が誰かを傷つけているかも!?

貧しい人々は盆栽と同じです
社会が地面に触れさせない
—ムハマド・ユヌス
(グラミン銀行創設者)



「貧困援助」の驚きの事実

「貧しい気の毒な人たちのために手を差し伸べよう」「彼らは無力で何もできない」

そんなイメージをうたい、繰り広げられてきた営利目的の途上国開発は、今や数十億ドルに及ぶ巨大産業となっている。その多くの援助活動が失敗に終わり、援助の受け手がもともと持っている能力やパワーも損ないさえする。私たちの「支援」がもたらす問題は？ 正しい支援のあり方とは？ 途上国とどう向き合うべきなのか？ ハイチやアフリカを主な舞台に、支援の裏側の隠れた真実と、それを乗り越え、切り開かれつつある未来の希望を、“支援される側”の人たちの生の声とともに伝えるドキュメンタリー。



当初の目標は経済を刺激し、発展を促すこと。目的は「人助け」のはずだった。しかし、世界を巻き込んだ「援助」は次第に複雑な構造になり動機や関係性が絡み合うことで、世界規模の“貧困産業”ができ上がった。

